

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	高知市 (392014)
地域名 (地域内農業集落名)	春野町秋山地区 (秋山集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	118.91 ha	※
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	76.65 ha	
② 田の面積	99.77 ha	
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.14 ha	
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.32 ha	
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.10 ha	※
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha	※
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha	※
(備考)		

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

※

秋山地域の人口は約690人、世帯数約330(令和6年10月1日現在)で、地域の農業を担う者予定者は19経営体である。当地区は、勾配があまりなく水捌けが悪いことから、谷筋を中心に湿田が多い地域であるが南側の山は潮風を遮る。水稻のほか、花き、キュウリ、トマト等の施設園芸が盛ん。近年は、農業者の高齢化や後継者不足により、耕作放棄地が増加している。圃場整備もほとんど行われておらず、農作業上不便な農地が多い。また、資材高騰による収益の減少や米の価格低迷、イノシシ等の鳥獣被害やジャンボタニシによる被害が課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

※

引き続き水稻栽培及び花卉、キュウリ、トマト等の施設園芸、露地でのショウガ等の高収益作物の栽培を行うとともに、新たな高収益作物の導入等について検討を行う。農地担い手の確保としては、既存農業者の経営面積の拡大や後継者の確保とともに新規就農者への農地の集約を図る。また、農業用水・排水路の整備、鳥獣対策を行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
耕作者不在の土地は、農地中間管理機構の制度によって、認定農業者等への農地の集積・集約化を図るとともに「地域の農業を担う者」についても担い手として農地利用を促す。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	8.3	%	将来の目標とする集積率 9.1 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現状の集積化(集約化)を維持、拡大させる。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	※
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に施設園芸の面積拡大を進めるとともに、主だった担い手への農地集積を進める。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	※
目標地図の実現に向け、農地中間管理機構を活用して、農地及び空きハウスの有効活用も含め、関係機関と連携し集積・集約に取り組む。	
(3)基盤整備事業への取組	※
基盤整備については、若者の誘致にもつながることから、農業用水や農道の整備等も含め、今後の地域全体の基盤整備等への新たなニーズ発生時に検討を実施する。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
施設園芸の新規就農者の確保に向けて、JAキュウリ部会、JA、県、市等で連携して誘致・育成に取り組む。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシ等の被害が拡大しないように防止柵を設置するとともに、捕獲人材の確保や目撃・被害情報があつたときは、捕獲人材に情報提供によって、捕獲を実施する。
- ③農作業の効率化を図るスマート農業の導入やデータ駆動型農業の取り組みを進める。
- ④畑作物の需要に応じた生産を促進するため、水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む。
- ⑦農道や水路、排水路等の保全・管理を引き続き地域で実施していく。
- ⑨耕種農家が飼料用米を栽培し、畜産農家が生産する良質な堆肥を農地に還元するなどの耕畜連携を進める。
- ⑩福祉関係法人を中心として、農福連携の推進を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	19経営体		14.36 ha	ha		15.14 ha	ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状					10年後 (目標年度:令和 16 年度)						
		経営作目等	経営面積		作業 受託 面積		経営作目等	経営面積		作業 受託 面積	目標地図 上の表示	備考	
認農	秋山1	水稻 飼料用米 馬鈴薯	0.71	ha		ha	水稻 飼料用米 馬鈴薯	0.71	ha		ha		
認農	秋山2	露地ショウガ 水稻	1.18	ha		ha	露地ショウガ 水稻	1.18	ha		ha		
認農	秋山3	水稻 施設花卉 果樹柿	0.80	ha		ha	水稻 施設花卉 果樹柿	0.80	ha		ha		
到達	秋山4	施設キュウリ	0.25	ha		ha	施設キュウリ	0.10	ha		ha		
利用者	秋山5	水稻	0.52	ha		ha	水稻	0.52	ha		ha		
認農	秋山6	施設キュウリ	0.20	ha		ha	施設キュウリ	0.20	ha		ha		
認農	秋山7	施設キュウリ 水稻	1.14	ha		ha	施設キュウリ 水稻	1.14	ha		ha		
利用者	秋山8	柿 水稻	2.83	ha		ha	柿 水稻	3.93	ha		ha		
認農	秋山9	施設花卉 水稻	1.10	ha		ha	施設花卉 水稻	1.10	ha		ha		
到達	秋山10	施設キュウリ	0.26	ha		ha	施設キュウリ	0.26	ha		ha		
利用者	秋山11	水稻	1.00	ha		ha	水稻	1.00	ha		ha		
到達	秋山12	施設ミニトマト	0.50	ha		ha	施設ミニトマト	0.50	ha		ha		
利用者	秋山13	露地花卉 果樹 露地野菜	0.19	ha		ha	露地花卉 果樹 露地野菜	0.19	ha		ha		
認農	秋山14	施設ショウガ 施設キュウリ	0.61	ha		ha	施設ショウガ 施設キュウリ	0.44	ha		ha		
到達	秋山15	水稻	0.56	ha		ha	水稻	0.56	ha		ha		
認農	秋山16	水稻	1.19	ha		ha	水稻	1.19	ha		ha		
認農	秋山17	施設キュウリ 施設ピーマン	0.27	ha		ha	施設キュウリ 施設ピーマン	0.27	ha		ha		
到達	秋山18	施設ユリ	0.41	ha		ha	施設ユリ	0.41	ha		ha		
認農	秋山19	施設キュウリ 施設ショウガ	0.64	ha		ha	施設キュウリ 施設ショウガ	0.64	ha		ha		